

倫理委員会議事要旨

1. 日 時 平成23年6月20日(月) 15:55~16:10

2. 場 所 大会議室

3. 出席者 ○自然科学系委員

(医学) 井原 副院長(委員長・司会)

多田 統括診療部長(副委員長)

(看護学) 藤坂 看護部長

(薬学) 山根 薬剤科長

○人文・社会学系委員

(一般) 植木 事務部長

野崎 企画課長

松浦 管理課長

(法曹) 板野 委員

(倫理) 太田 外部委員

本保 外部委員

◇記録・・・ 小谷 庶務班長

4. 議事要旨 下記のとおり

配付資料

- ・倫理検討委員会・臨床研究等審査受付簿
- ・5月倫理委員会議事要旨
- ・研究倫理審査申請書(内容は以下のとおり。)

受付番号	職名	氏名	研究課題名
3	理学療法士	門脇 守男	理学療法により歩行能力が向上した高齢スモン患者の一症例
4	治験主任	吉田 恭子	CRCの業務量とこれからの臨床研究コーディネーターのあり方についてー過去10年をふりかえってー
5	副薬剤科長	森近 俊之	ALS患者の流涎に対するスコポラミン軟膏の調整～使用について
6	副薬剤科長	森近 俊之	外来DOTSパスにおける薬剤師の関わり
7	神経・筋疾患研究室長	坂井 研一	中国四国地区スモン患者の現状調査、及びスモン患者及び介護者の高次脳機能と精神症状の検討

受付番号	職名	氏名	研究課題名
8	第一診療課長	竹内 誠	ボルテソミブ治療を受けた多発性骨髄腫患者の帯状疱疹発症に関する後方視的調査研究
9	第一診療課長	竹内 誠	イマチニブ抵抗性または不耐容の慢性期慢性骨髄性白血病に対するダサチニブの第Ⅱ相臨床試験
10	副薬剤科長	森近 俊之	研修会をとおしての医療安全推進担当者の新たな取り組み
11	看護師	久米 広美	結核病棟での認知症周辺症状発症時における看護師の心理と行動
12	看護師	花房 人美	抑うつ状態にある患者の呼吸器離脱へ向けての関わりを振り返る～フィンの危機モデル用いて～
13	看護師	宇渡 友美	ALSの患者を対象とした安楽な側臥位の検討
14	看護師	西田 千勢、 安井 紀子、 富田 彩佳	退院調整における受け持ち看護師への支援を考える～卒後2年目看護師が経験した退院困難な事例から～
15	看護師	山田 恵子	FIMを用いて病棟とリハビリ室の連携を強化した高齢者リハビリ施行における看護師の病棟内リハビリに対する認識の変化
16	看護師	木村 古都	人工呼吸器を装着し在宅療養中である神経筋難病患者家族のレスパイト入院に対する思いの分析
17	看護師	大森 裕美	神経筋難病患者のレスパイト入院における交換ノートの活用（仮）
18	看護師	池田さやか 他4名	重症心身障害者の胃瘻患者における五感を利用したの試みーミキサー食を通してのA氏の情動の変化ー
19	看護師	鷺海由美子	経口摂取患者の家族にアンケート実施した結果から
20	看護師	上田 素子	意識下手術を受ける患者の手術に対する思い～手術前・中・後の面接内容の分析から～

受付番号	職名	氏名	研究課題名
21	保育士	安原 優子	A型通園で在宅重症児が生活リズムを作るため個別に「ふれあい体験」を試みてーQOL向上に繋がる取り組みー
22	保育士	田辺千恵子	病棟建て替えに伴っての合同行事を実施してみ
23	看護師	石原 典子	A型通園における医療処置に関する家族指導～指導ファイルを作成して～

【委員会の成立について】

(内A) 委員の方、10名出席していますので、本委員会は成立しております。

【議事要旨の確認について】

(内A) 本日の議事要旨の確認は、本保外部委員と山根薬剤科長にお願いします。

【研究倫理審査の申請について】

4月の倫理審査について

<受付番号7番>

(内A) 研究利益相反審査申請が提出されているため、研究検討委員会では審議出来ないことから倫理委員会での審査が必要としたものです。

研究利益相反審査委員会では利益相反は認められないという判断でした。

坂井先生が中四国のリーダーで研究をするもので、中四国の共同研究者と一緒に中四国地区のスモン患者の現況を調査し、スモン患者がおかれている状況を分析して対策を練っていくという内容の研究で、今回提出されたものです。如何でしょうか。

承認された。

<受付番号3番～6番、8番～23番>

(内A) 全て事前の研究検討委員会で承認となっております。

受付番号3番～6番、8番～23番について概要を説明

ご覧いただいて質問等ございましたら、よろしくお願いします。

今年の10月に国立病院総合医学会が岡山で開催されるためたくさん演題が出題されたことと、今年度の看護部の各部署での研究計画がまとまったことにより多くの倫理審査申請がありました。

承認された。

(外B) 内容に関してではないのですが、保育士から申請がされているが病院の常勤職員なのですか。

(内A) 重症心身障害児(者)病棟には小さい子供さんもいるので、常勤職員として5名保育士が勤務している。

(外A) どんな職種の職員が勤務しているのかわかるような資料を提供してほしい。

(内A) 検討してみます。

(外B) 研究大会がなくても毎回いろんな職種の課題が提出されているが、年1回とかテーマを持って取り組みましょうというような取り決めがあるでしょうか。

(内A) 部署により取り組み方が違います。例えば、看護部は各部門で毎年ひとつのテーマを設け年間を通して研究している。医師は自発的なことが多い。

(内C) 総合医学会で今回35題演題が当院から提出されているが、今回倫理委員会に20題程度提出されているので、残り15題は後日倫理委員会に提出されることとなるのでしょうか。

(内A) 看護部に関しては前年度倫理委員会に研究計画を提出し承認を受けている。今回の総合医学会ではその結果を発表することとなります。これまで倫理審査を受けていない研究課題について申請を提出してもらっている。

(内C) わかりました。

それでは、以上で倫理委員会を終了いたします。

その他

・ 次回の開催日時 → 7月25日(月) 15時～

上記の議事要旨に相違ないこと確認する。

外部委員署名〔本俣恭子〕

内部委員署名〔山根隆志〕